



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東  
 コード番号 8254 URL http://www.saikaya.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 岡本 洋三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 堀江 肇 (TEL) 046 (845) 6803  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	9,867	△6.9	△6	—	△64	—	△67	—
29年2月期第2四半期	10,596	△29.8	20	△94.4	△31	—	0	△100.0

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 △84百万円(—%) 29年2月期第2四半期 △8百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	△21.73	—
29年2月期第2四半期	0.04	0.03

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2. 平成29年9月1日付で普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	12,123	1,655	13.7
29年2月期	12,856	1,739	13.5

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 1,655百万円 29年2月期 1,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	—	—	0.00	0.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,550	△2.4	150	—	35	—	40	—	12.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	3,135,314株	29年2月期	3,135,314株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	14,566株	29年2月期	14,310株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	3,120,889株	29年2月期2Q	3,121,249株

平成29年9月1日付で普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 連結売上高の内訳	10
(2) 店別売上高(単体)	10
(3) 商品別売上高(単体)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日～平成29年8月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善しており、個人マインドが持ち直すなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

百貨店業界におきましては、主力の衣料品の低迷が継続するものの、富裕層の需要の強さから、美術・宝飾・貴金属などの高額商材が活況となるほか、都市部を中心としたインバウンド需要も化粧品をはじめ好調が続いております。

このような状況の下、当社におきましては、今年度から3年間の新中期経営計画を策定し、「営業力の強化」、「CS徹底の推進」、「財務基盤の強化」の3つの基本戦略に対応するための施策実行に全社を挙げて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における営業の状況につきましては、近隣商圏における業種、業態を超えた販売競争の激化など厳しい状況のなか、主力の衣料品の低迷が継続していることに加え、中元商戦において前年実績を下回る結果となりました。藤沢店におきましては、入店客数の増加や一部の売場で前年を上回る売上をあげるなどのリモデル効果は確実に出てきておりますが、店舗全体での効果の実現までには至っていない状況にあります。

当第2四半期連結累計期間において実施した施策といたしまして、営業力強化におきましては、藤沢店では4月のニトリオープンに加え、8月には2階にタリーズコーヒーをオープンし、藤沢店のリモデルが完了しました。更に、売上比重が高くデイリー商材でもある食料品の強化のため、藤沢店に澤光青果を、横須賀店に九州屋をオープンするなど、店舗営業力の強化をはかりました。また、地元に着目した営業施策として、藤沢店では「湘南」の食や技の数々を一堂に集めた「湘南ライフスタイルフェア」や「湘南藤沢mama'sフェスタ」を開催、横須賀店ではこだわりをもって野菜を育てる地元三浦の農家「毘沙門ファーマーズ」のコーナーを青果売場に新設するなどして、地元のお客様からご好評をいただきました。川崎店におきましては、川崎地区のお客様との結びつきを強めるため、外商担当者を増員し、外商営業力の更なる強化をはかりました。

このほか、従来から取り組んでおりましたCS徹底の推進におきましては、4月に専門部署となるCS企画推進部を新設し、全社一丸となってCSの強化をはかるための組織整備をおこないました。

一方、財務基盤の強化におきましては、ローコストオペレーションを更に推進し、各種経費の削減に努め、販売費一般管理費は計画値を下回りました。

以上のような施策を積極的に展開いたしました。当第2四半期連結累計期間の連結業績は前年同期比減収減益となり、売上高は9,867百万円(前年同期比93.1%)、営業損失6百万円(前年同期は営業利益20百万円)、経常損失64百万円(前年同期は経常損失31百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失67百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益0百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産については12,123百万円となり、前連結会計年度末に比べ733百万円減少しました。負債については、前連結会計年度末に比べて649百万円減少し10,468百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べて84百万円減少し1,655百万円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し553百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、111百万円の収入(前年同期比39百万円の収入の減少)となりました。主な増加項目は、減価償却費201百万円等であり、主な減少項目は、未払費用の減少額83百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、211百万円の収入（前年同期は69百万円の支出）となりました。主な増加項目は、差入保証金の回収による収入572百万円等であり、主な減少項目は、有形固定資産の取得による支出335百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、355百万円の支出（前年同期比200百万円の支出の減少）となりました。主な減少項目は、長期借入金の純減少額194百万円および短期借入金の減少額100百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成29年4月13日に公表いたしました平成30年2月期通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	655,115	553,193
売掛金	448,558	465,189
商品	761,367	686,868
貯蔵品	34,446	31,170
その他	208,210	174,832
貸倒引当金	—	△10
流動資産合計	2,107,698	1,911,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,654,511	3,661,311
土地	4,563,998	4,563,998
リース資産(純額)	133,766	110,711
その他(純額)	24,304	23,161
有形固定資産合計	8,376,581	8,359,183
無形固定資産		
その他	54,313	44,265
無形固定資産合計	54,313	44,265
投資その他の資産		
投資有価証券	471,003	448,055
敷金及び保証金	1,582,174	1,001,754
破産更生債権等	13,186	13,356
長期前払費用	202,156	295,651
その他	65,318	64,318
貸倒引当金	△15,548	△14,668
投資その他の資産合計	2,318,291	1,808,469
固定資産合計	10,749,186	10,211,918
資産合計	12,856,885	12,123,162

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	28,285	35,583
買掛金	1,505,762	1,542,989
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	424,300	246,600
未払法人税等	11,165	12,408
商品券	770,411	750,425
賞与引当金	37,832	37,724
商品券回収損引当金	651,480	660,107
ポイント引当金	40,108	43,357
その他	993,028	651,470
流動負債合計	4,562,374	3,980,665
固定負債		
長期借入金	5,434,029	5,417,349
繰延税金負債	194,455	182,868
退職給付に係る負債	388,157	395,449
資産除去債務	146,449	147,909
リース債務	145,797	85,964
その他	246,279	257,824
固定負債合計	6,555,169	6,487,366
負債合計	11,117,544	10,468,032
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,945,290	1,945,290
資本剰余金	1,637,078	1,637,078
利益剰余金	△1,915,929	△1,983,737
自己株式	△42,564	△42,716
株主資本合計	1,623,876	1,555,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,463	99,213
その他の包括利益累計額合計	115,463	99,213
純資産合計	1,739,340	1,655,130
負債純資産合計	12,856,885	12,123,162

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	10,596,242	9,867,611
売上原価	8,316,646	7,753,373
売上総利益	2,279,595	2,114,237
販売費及び一般管理費	2,259,423	2,120,515
営業利益又は営業損失(△)	20,172	△6,277
営業外収益		
受取利息	456	242
受取配当金	2,198	2,417
補助金収入	21,972	—
商品券等整理益	2,194	4,358
その他	4,315	7,372
営業外収益合計	31,137	14,390
営業外費用		
支払利息	70,821	61,504
その他	12,406	11,548
営業外費用合計	83,227	73,052
経常損失(△)	△31,917	△64,940
特別利益		
固定資産売却益	28,705	—
特別利益合計	28,705	—
特別損失		
固定資産除却損	625	2,190
特別損失合計	625	2,190
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,837	△67,131
法人税、住民税及び事業税	1,817	5,098
法人税等調整額	△5,792	△4,421
法人税等合計	△3,974	676
四半期純利益又は四半期純損失(△)	136	△67,808
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	136	△67,808

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	136	△67,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,548	△16,250
その他の包括利益合計	△8,548	△16,250
四半期包括利益	△8,411	△84,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,411	△84,058
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△3,837	△67,131
減価償却費	189,747	201,913
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△690	△870
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	10,923	8,627
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,348	△108
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,586	7,291
ポイント引当金の増減額(△は減少)	9,794	3,249
受取利息及び受取配当金	△2,654	△2,659
支払利息	70,821	61,504
固定資産売却損益(△は益)	△28,705	—
固定資産除却損	625	2,190
売上債権の増減額(△は増加)	14,349	△16,630
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,436	77,774
仕入債務の増減額(△は減少)	72,175	44,525
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,612	113,201
未払費用の増減額(△は減少)	1,481	△83,121
商品券の増減額(△は減少)	△60,478	△19,985
その他	△110,371	△154,479
小計	192,764	175,290
利息及び配当金の受取額	2,648	2,659
利息の支払額	△71,977	△62,054
法人税等の支払額	△3,221	△5,809
法人税等の還付額	31,032	1,806
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,246	111,892
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△70,000	—
定期預金の払戻による収入	—	70,000
有形固定資産の取得による支出	△44,641	△335,125
無形固定資産の取得による支出	△1,294	△2,100
有形固定資産の売却による収入	293,507	—
投資有価証券の取得による支出	△447	△467
差入保証金の差入による支出	—	△187
差入保証金の回収による収入	29,074	572,912
長期前払費用の取得による支出	△275,878	△93,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,682	211,536
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	—	348,464
長期借入金の返済による支出	△495,770	△542,844
リース債務の返済による支出	△60,410	△60,818
その他	△60	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556,241	△355,350
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△474,676	△31,921
現金及び現金同等物の期首残高	1,332,291	585,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	857,615	553,193

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 補足情報

## (1) 連結売上高の内訳

	前第2四半期 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)		当第2四半期 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	10,584,533	95.9	9,855,072	95.6	△729,460	93.1
アルファトレンド㈱	447,536	4.0	448,796	4.3	1,260	100.3
㈱さいか屋友の会	7,053	0.1	8,242	0.1	1,189	116.9
小計	11,039,122	100.0	10,312,111	100.0	△727,010	93.4
内部売上高の消去	△442,880	—	△444,500	—	△1,620	—
合計	10,596,242	—	9,867,611	—	△728,630	93.1

## (2) 店別売上高(単体)

	前第2四半期 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)		当第2四半期 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	5,763,552	55.5	5,237,050	54.6	△526,502	90.9
横須賀店	4,074,609	39.2	3,810,814	39.7	△263,794	93.5
川崎店	473,457	4.6	515,541	5.4	42,084	108.9
町田ジョルナ	71,654	0.7	34,451	0.3	△37,203	48.1
小計	10,383,273	100.0	9,597,857	100.0	△785,415	92.4
テナント及び手数料収入	201,259	—	257,214	—	55,955	127.8
合計	10,584,533	—	9,855,072	—	△729,460	93.1

## (3) 商品別売上高(単体)

	前第2四半期 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)		当第2四半期 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)		前年対比・増減	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	2,868,518	27.6	2,497,582	26.0	△370,935	87.1
身回品	1,029,143	9.9	921,460	9.6	△107,683	89.5
雑貨	1,833,466	17.7	1,714,623	17.9	△118,843	93.5
家庭用品	317,687	3.1	241,713	2.5	△75,974	76.1
食料品	3,731,745	35.9	3,671,429	38.3	△60,316	98.4
食堂・喫茶	251,143	2.4	244,768	2.5	△6,375	97.5
その他	351,569	3.4	306,281	3.2	△45,288	87.1
合計	10,383,273	100.0	9,597,857	100.0	△785,415	92.4